



日本細菌学会

JAPANESE SOCIETY FOR BACTERIOLOGY

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 財団法人 口腔保健協会内

Tel 03-3947-8891 Fax 03-3947-8341 E-Mail : gakkai23@kokuhoken.or.jp

平成21年11月25日

文部科学副大臣 中川 正春 殿
文部科学大臣政務官 後藤 斎 殿

文部科学省におかれましては、科学技術立国としての国家戦略のもと科学技術基本計画等の総合的施策により学術研究支援事業を強力に推進して頂きまして誠に有り難うございます。

この度の行政刷新会議での仕分け対象事業となりました競争的資金（先端研究）が、「一元化を含めシンプル化し予算を整理、縮減」というご評価を受けたことにつきまして大変残念に思っております。日本細菌学会会員を代表して、この様な評価結果についてご意見を具申いたします。

科学技術および学術活動における公的資金助成は、日本に限らず欧米先進国においても経済発展を支える重要な政策であるだけでなく、国民の安全で安心な生活を保障する基本的な国家施策として位置付けられるかと存じます。社会・国民に還元できる学術支援事業の効果的推進のために、大学や学協会等に競争的環境を醸成し研究教育を活性化することが必須であることは申し上げるまでもございません。今般事業仕分けの評価対象となりました競争的資金（先端研究）の運営にあっても、学術分野の急速な進展に機動的に対応できる多様な競争的学術支援制度の導入が図られているところです。

御省の学術支援事業のなかで、科学研究費補助金（科研費）は、これまで我が国の人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野において、研究者の自由な発想に基づく創造的な研究開発活動の展開を促し優れた成果を生み出してきました。例えば、日本細菌学会が取り組む研究教育活動においても、科研費により推進された基盤研究や先端研究により、細菌の増殖・毒性発現メカニズムの解明、ワクチン開発や新たな治療薬の創薬、先端生命科学の新機軸の創成など、学術研究の大きな展開を成し遂げ、さらに、細菌学のみならず多彩な生命科学分野で活躍する優れた若手研究者の育成にも貢献してきました。

この度の事業仕分け評価コメントに他省庁の制度を含めた重複の問題が指摘されております。大学等においては、教育研究の基盤となる組織存立を支える基盤的資金と優れた先端的研究を助成する2本立て支援体制（デュアルサポート）によって教育研究体制が構築されております。この様なデュアルサポート政策は、欧米先進国においても長く採用されてきた基本的な学術施策であり科研費等の競争的資金はこの両輪の片翼を担う主要な学術支援事業であります。制度運用上無駄な重複を整理することはもちろん必要かと存じますが、予算上の量的な効率化が図られるとしても、御省の科研費等による研究教育支援事業は、他の省庁の事業とは政策理念・意義が質的に異なるものであり、我が国の大学や学協会等における研究教育活動を支える根本的な学術・高等教育支援事業であると確信しています。

文部科学省の科研費をはじめとする先端研究支援事業が今後も大きく展開し、細菌学会を含めた様々な学術分野で世界をリードする卓越した研究成果が上げられることが強く望まれるものであります。さらに、当該事業により国内外で活躍する優れた研究者を育成することが大変重要な課題でございます。よってここに、本学会員を代表して、御省の競争的研究資金が益々整備・拡充されることを願います次第でございます。

日本細菌学会
理事長

野田 公俊

